厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業
MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究
総括・分担　研究報告書

東海における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学　大学院看護学研究科　准教授）
研究協力者：石田敏彦、藤浦裕二、藤井良樹（ANGEL LIFE NAGOYA）

研究要旨

クリニック検査については、広域の地方圏である岐阜市内の利便性が高いクリニックから協力の承諾を得て、検査提供を行った。また名古屋市の利便性の高い繁華街の性感染症クリニックのみならず、新たに三河地域においても新規のクリニックを開拓し協力を得た。3 クリニックで総計 57 名の利用があった。年間の HIV の陽性件数は 2 件であった。梅毒は既往歴と新規感染合わせて 12 名の陽性が見られた。

ゆうそう検査は、総計 75 キットを配布した。コミュニティセンターrise での対面配布が 15 件、WEB での配布が 60 件であった。アンケートに回答したものは 75 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 57 名であった。HIV 陽性件数は 0 件、梅毒の陽性件数は 7 件（既感染も含む）であった。郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 14 名においては、30 歳未満が 14.3%を占めた。東海地域の居住者が 100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 7.1%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 21.4%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 35.7%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 31 名においては、30 歳未満が 25.8%を占めた。東海地域の居住者が 58.1%であった。生涯初の検査経験割合は 35.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 80.6%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 51.7%を占めた。

今年度も新型コロナ感染症に伴う自粛宣言に対応しながら、クリニック検査とゆうそう検査の同時進行にはマンパワーの課題があったが、今後よりよい棲み分け法も考え検討していく必要がある。

A. 研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながることがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、東海地域では大阪や中四国で成功を収めてきた民間医療機関を活用した HIV と梅毒の検査提供（通称クリニック検査）をモデルとし展開することとした。

また自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査もコミュニティセンターでの対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行う。

B. 研究方法

1）クリニック検査

大阪や中四国で成功を収めてきたクリニック検査の先行事例を解析し、その方法を参考に実施した。東海地域の中でも、面積が広く、検査アクセスに課題がある岐阜県において民間医療機関を開拓、協力を依頼し、新たな検査プログラムを実施した。また名古屋市内の利便性の高い場所に開所している民間医療機関にも協力を依頼し、実施した。本年度から三河地域において新たにクリニックを 1 件開拓し、総計 3 機関で検査を提供した。

第 1 期を令和 3 年 8 月 1 日から 9 月 30 日まで、第 2 期を令和 4 年 1 月 31 日から 2 月 26 日までとし、HIV 検査と梅毒の検査提供を行った。医療機関への協力依頼、Twitter 等 SNS での告知、出会い系アプリや SNS アプリを使った広報は ANGEL LIFE NAGOYA が担当した。

受検者には検査提供医療機関で自記式アンケートも実施し、協力を要請した。

2）ゆうそう検査

コミュニティセンターでの対面型配布は 250 件を予定した。WEB 申し込み型の配布は 50 件を予定した。

東海地域在住の MSM や名古屋市の MSM 向け商業地域（コミュニティセンターrise の所在地）にアクセスできる MSM を対象に、ポスターやコミュニティペーパーなど紙媒体による広報展開も実施した。対面配布を 10 月 1 日～10 月 31 日、11 月 27 日～12 月 25 日の 2 回に分けて行った。WEB での申し込み期間は 10 月 1 日～12 月 25 日とした。

2021 年 9 月 1 日から配布を開始し、対面配布で 15 件、WEB 配布で 60 件の実績があった。

本研究計画はいずれも名古屋市立大学看護学部倫理審査委員会により実施の承認を得た。

C. 研究結果

1）クリニック検査

これまでの東海地域で実施してきた各種の調査データを用い、啓発戦略を策定した。東海地域では、2003 年より名古屋医療センター、ANGEL LIFE NAGOYA、行政（名古屋市）が連携して大規模検査会を実施してきている。

その際にも検査を知るきっかけは SNS、口コミ、出会い系アプリでの広告が最も多いことに鑑み、本プログラムでも MSM 向けの出会い系アプリ広告を活用した。

新型コロナ感染症の再拡大が起き、緊急事態宣言が出されていたため、紙資材を用いたゲイバー等への情報アウトリーチは十分に展開できなかった。岐阜市内のクリニックは 8 名の利用者がいた。また名古屋市のクリニックは 46 名、豊橋市内のクリニックは 3 名の利用があった。令和 2 年度、令和 3 年度の受検者の詳細については資料 1 で示した。

30 歳未満が 34.5%を占めた。愛知県の居住者が 90.9%であった。生涯初の検査経験割合は 23.6%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 38.9%を占めた。

とうかいクリニック検査 実施結果

2020年度	
2021/1/12 -2/26	受検者31名（HIV陽性1名、梅毒陽性9名）
2021年度	
第1期 2021/8/1 -9/30	受検者48名（HIV陽性1名、梅毒陽性9名）
第2期 2022/1/31 -2/26	受検者9名（HIV陽性1名、梅毒陽性3名）

2年間の合計
受検者88名（HIV陽性率3.4%、梅毒感染率23.9%）

2）ゆうそう検査

新型コロナ感染症の再拡大が起き、緊急事態宣言が出されていため、紙資材を用いたゲイバー等への情報アウトリーチは十分に展開できなかった。

総計 75 キットを配布し、コミュニティセンターrise での対面配布が 15 件、WEB での配布が 60 件であった。アンケートに回答したものは 90 名であった。実際に検体を郵送会社に郵送したものは 57 名であった。HIV 陽性件数は 0 件、梅毒の陽性件数は 7 件（既感染も含む）であった。

表 1　郵送検査利用者の概要

地域	愛知
CBO	ANGEL LIFE NAGOYA
コミュニティセンター	rise
a 配布総数	75
対面配布数	15
WEB配布数	60
b 受検者アンケート回答者数	90
c 利用者数；郵送検査会社での受付数	57
利用率；配布数に占める利用者数(c/a)	76.0%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録（割合 d/c）	53 (93.0%)
抗体検査結果	
□ HIV感染症	
e 判定不能者数（割合 e/c）	1 (1.8%)
f 陽性数（割合 f/c）	0 (0.0%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	0.0 (0.0%)
□ 梅毒	
g 判定不能者数（割合 g/c）	2 (3.5%)
h 陽性数（割合 h/c）	7 (12.7%)
推定 新規陽性者数（新規陽性率）*	1.2 (2.2%)
i 追跡可能者実数；無料ID使用者数（割合 i/c）	45 (78.9%)
j 事後アンケート回答者数（割合 j/c）	45 (78.9%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数（割合 k/c）	38 (66.7%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、（利用者数-判定不能者数）に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検の重複は除いた。事前、事後アンケート調査において年齢・居住地が不一致な場合も含む。

郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 14 名においては、30

歳未満が 14.3%を占めた。東海地域の居住者が 100.0%であった。生涯初の検査経験割合は 7.1%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 21.4%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 35.7%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 31 名においては、30 歳未満が 25.8%を占めた。東海地域の居住者が 58.1%であった。生涯初の検査経験割合は 35.5%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 80.6%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 51.7%を占めた。

D. 考察

クリニック検査やゆうそう検査いずれも、資材は作成したが配布直前から緊急事態宣言による時間短縮があり、主要なゲイバーがほとんど営業しないことになり、紙媒体配布の効果は薄くなった。

愛知県と名古屋医療センターが行っている無料 HIV・性感染症検査会にコロナ禍以前の過去 5 年は毎年 600～700 名の MSM が受検していた。検査意識の高い層をクリニック検査やゆうそう検査に受検促進する広報が不十分であったといえる。

東海地域はクリニック検査２年目を実施した。MSM や HIV に理解のある理解名古屋で 1 機関、三河地域で 1 機関、と岐阜市内で 1 機関のクリニックの協力を得た。出会い系アプリでの広報の展開などを実施した結果として、クリニックは 57 名の受検者があり、昨年度から 1.8 倍となった。今後も協働関係を継続していくことが重要であると考える。

またゆうそう検査キットの配布を継続していくなかで、受検意識が高い層は東海地域クリニック検査を利用していることもあり、アウトリーチの範囲を広げていく必要がある。WEB 配布では若年層が利用する割合が高い一方で、東海地域以外の特に関東居住の利用者の割合も高くなる。全国で連携して行っているので、メリットでもあるが、サポート体制等の強化も必要となり、その点を工夫していく必要がある。

他研究班による検査提供や、本研究班のクリニック検査の時期とかぶったなかで検査機会の促進を取り組んでいることから、他の検査提供機会と時期を調整しつつ、必要な層に訴求していくことが求められる。

E. 結論

新しく新規に HIV 検査と梅毒検査が提供可能なクリニックを岐阜県に開拓し、協力を得た。初めての試みであったが 5 名の利用があった。また名古屋市のクリニックでも 26 名の利用があった。

ゆうそう検査とクリニック検査を同時期に実施することによる受検促進の困難があった。次年度以降はうまくすみ分ける方法を考えていく必要がある。

F. 研究発表

1. 論文発表

6) Hill A.O., Bavinton B.R., Kaneko N, Lafferty L, Lyons A, Gilmour S, Armstrong G.: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. Archives of Sexual Behavior, Accepted on July 1st, 2021.

7) 金子典代, 塩野徳史：コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 2021.

8) 宮田りりぃ,塩野徳史,金子典代：MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

2. 学会発表（国外）

1) Benjamin R. Bavinton, Adam Hill, Natalie Amos, Sin How Lim, Thomas Guadamuz, Noriyo Kaneko, Martin Holt, Adam Bourne: Low PrEP uptake among gay, bisexual, and other men who have sex with men in five Asian countries: Results of the Asia Pacific MSM Internet Survey. The 11th IAS – the International AIDS Society – Conference on HIV Science, Virtual, 2021.

2) Adam O Hill, Benjamin R Bavinton, Noriyo Kaneko, Lise Lafferty, Anthony Lyons, Stuart Gilmour, Jennifer Power, Gregory Armstrong: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. 2021 Joint Australasian Sexual Health and HIV&AIDS Conferences, Virtual, 2021.

3.学会発表（国内）

1） 金子典代：日本のMSMにおけるHIV検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大ストラテジー．第1回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021

2） 金子典代：MSMを対象としたHIV検査促進プログラムの変遷とHIV検査機会拡大にむけた新たな試み．日本エイズ学会シンポジウム，第35回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021

3） Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjamts, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa：Studies on mitigating stigma and developing an awareness program targeting a population at risk for HIV infection in Mongolia. 第35回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021

4） 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりぃ、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス．GID学会第23回研究大会・総会，WEB開催，2022

G.知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし

表２　郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別　利用者概要

	配布方法とIDの利用状況												
	アンケート回答のみ		ID使用				ID不使用				合計		Pearson カイ2乗
			対面配布		WEB配布		対面配布		WEB配布				
配布CBO													
ANGEL LIFE NAGOYA/rise（愛知）	45	4.5%	14	2.7%	31	7.5%	1	1.0%	11	3.9%	102	4.4%	
検査DATA　採取した月													
2021年9月			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.89
2021年10月			3	21.4%	10	32.3%			2	18.2%	15	26.8%	
2021年11月			1	7.1%	5	16.1%			2	18.2%	8	14.3%	
2021年12月			8	57.1%	13	41.9%			6	54.5%	27	48.2%	
2022年1月			2	14.3%	3	9.7%			1	9.1%	6	10.7%	
合計			14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
検査DATA　HIV感染症スクリーニング検査結果													
初めて陽性と知った			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.66
陰性だった			14	100.0%	30	96.8%			11	100.0%	55	98.2%	
判定不能			0	0.0%	1	3.2%			0	0.0%	1	1.8%	
再罹患			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計			14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
検査DATA　梅毒抗体検査結果													
既往あり			0	0.0%	1	3.2%			0	0.0%	1	1.8%	0.29
初めて陽性と知った			0	0.0%	1	3.2%			2	18.2%	3	5.4%	
陰性だった			13	92.9%	24	77.4%			9	81.8%	46	82.1%	
判定不能			1	7.1%	1	3.2%			0	0.0%	2	3.6%	
再罹患			0	0.0%	4	12.9%			0	0.0%	4	7.1%	
合計			14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
検査DATA　結果閲覧の状況													
未読			1	7.1%	1	3.2%			2	18.2%	4	7.1%	0.25
既読			13	92.9%	30	96.8%			9	81.8%	52	92.9%	
合計			14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	56	100.0%	
年齢階級（10歳区分）													
29歳以下	8	17.8%	2	14.3%	8	25.8%			1	9.1%	19	18.8%	0.46
30-39歳	17	37.8%	6	42.9%	11	35.5%			3	27.3%	37	36.6%	
40-49歳	11	24.4%	0	0.0%	7	22.6%			3	27.3%	21	20.8%	
50-59歳	7	15.6%	5	35.7%	3	9.7%			4	36.4%	19	18.8%	
60歳以上	2	4.4%	1	7.1%	2	6.5%			0	0.0%	5	5.0%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	101	100.0%	

表３　郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別　利用者属性

		配布方法とIDの利用状況										
		アンケート回答のみ		ID使用 対面配布		ID使用 WEB配布		ID不使用 対面配布		ID不使用 WEB配布		合計		Pearson カイ2乗
居住地														
	北海道	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	1.0%	0.04
	東北	3	6.7%	0	0.0%	2	6.5%			0	0.0%	5	5.2%	
	北関東	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	1.0%	
	東京	2	4.4%	0	0.0%	5	16.1%			0	0.0%	7	7.2%	
	南関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			1	14.3%	1	1.0%	
	甲信越	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	1.0%	
	北陸	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	2	2.1%	
	東海	31	68.9%	14	100.0%	18	58.1%			5	71.4%	68	70.1%	
	近畿	3	6.7%	0	0.0%	2	6.5%			0	0.0%	5	5.2%	
	中国	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	1	1.0%	
	四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
	九州	0	0.0%	0	0.0%	3	9.7%			0	0.0%	3	3.1%	
	沖縄	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%			0	0.0%	1	1.0%	
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			1	14.3%	1	1.0%	
	合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			7	100.0%	97	100.0%	
国籍														
	日本	45	100.0%	13	92.9%	29	93.5%					87	96.7%	0.32
	アジア	0	0.0%	1	7.1%	1	3.2%					2	2.2%	
	欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	1	3.2%					1	1.1%	
	合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%					90	100.0%	
【事後アンケート】あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。														
	中心市街地			5	41.7%	8	30.8%			2	28.6%	15	33.3%	0.82
	郊外住宅地			6	50.0%	15	57.7%			5	71.4%	26	57.8%	
	農村地域・漁村地域			1	8.3%	1	3.8%			0	0.0%	2	4.4%	
	山間部			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
	離島			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
	無回答			0	0.0%	2	7.7%			0	0.0%	2	4.4%	
	合計			12	100.0%	26	100.0%			7	100.0%	45	100.0%	
性別														
	男性	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	101	100.0%	
	女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
	トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	
	合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			11	100.0%	101	100.0%	
【事後アンケート】あなたはトランスジェンダーですか。														
	はい			0	0.0%	0	0.0%			0	0.0%	0	0.0%	0.47
	いいえ			12	100.0%	24	92.3%			7	100.0%	43	95.6%	
	無回答			0	0.0%	2	7.7%			0	0.0%	2	4.4%	
	合計			12	100.0%	26	100.0%			7	100.0%	45	100.0%	
居住形態														
	独居	25	55.6%	8	57.1%	18	58.1%					51	56.7%	0.98
	同居	20	44.4%	6	42.9%	13	41.9%					39	43.3%	
	定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%					0	0.0%	
	合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%					90	100.0%	

表４　郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別　受検行動と商業施設利用、CBO 活動認知

	配布方法とIDの利用状況										
	アンケート回答のみ		ID使用 対面配布		ID使用 WEB配布		ID不使用 対面配布	ID不使用 WEB配布	合計		Pearson カイ2乗
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	34	75.6%	13	92.9%	20	64.5%			67	74.4%	0.13
ない（今回が初めての検査）	11	24.4%	1	7.1%	11	35.5%			23	25.6%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。											
ある	13	28.9%	11	78.6%	6	19.4%			30	33.3%	<0.01
ない	32	71.1%	3	21.4%	25	80.6%			60	66.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
過去1年の受検場所（複数回答）											
保健所	6	13.3%	2	14.3%	2	6.5%			10	11.1%	<0.01
病院/クリニック	2	4.4%	2	14.3%	2	6.5%			6	6.7%	<0.01
郵送検査	3	6.7%	8	57.1%	3	9.7%			14	15.6%	<0.01
その他	2	4.4%	0	0.0%	1	3.2%			3	3.3%	<0.01
過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）											
ゲイバー	12	26.7%	7	50.0%	9	29.0%			28	31.1%	0.25
ゲイイベント	4	8.9%	0	0.0%	0	0.0%			4	4.4%	0.12
ゲイショップ	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%			2	2.2%	0.36
有料のハッテン場	12	26.7%	2	14.3%	5	16.1%			19	21.1%	0.43
野外のハッテン場	11	24.4%	0	0.0%	10	32.3%			21	23.3%	0.06
いずれもない	17	37.8%	6	42.9%	13	41.9%			36	40.0%	0.91
過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために以下のSNSや掲示板を利用しましたか。（複数回答）											
Twitter	18	40.0%	6	42.9%	15	48.4%			39	43.3%	0.77
Instagram	6	13.3%	0	0.0%	3	9.7%			9	10.0%	0.35
VERO	5	11.1%	0	0.0%	4	12.9%			9	10.0%	0.39
9monsters	36	80.0%	13	92.9%	27	87.1%			76	84.4%	0.45
Men's Net Japan	13	28.9%	1	7.1%	5	16.1%			19	21.1%	0.15
KO-MENSTV	2	4.4%	0	0.0%	2	6.5%			4	4.4%	0.62
その他	5	11.1%	1	7.1%	1	3.2%			7	7.8%	0.45
いずれもない	5	11.1%	0	0.0%	4	12.9%			9	10.0%	0.39
過去１年間に、NGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか。											
受け取っていない	40	88.9%	5	35.7%	29	93.5%			74	82.2%	<0.01
受け取ったけど、利用していない	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%			1	1.1%	
受け取って、利用した	4	8.9%	9	64.3%	2	6.5%			15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか。											
よく知っている	10	22.2%	5	35.7%	7	22.6%			22	24.4%	0.01
少し知っている	23	51.1%	4	28.6%	8	25.8%			35	38.9%	
あまり知らない	12	26.7%	5	35.7%	10	32.3%			27	30.0%	
全く知らない	0	0.0%	0	0.0%	6	19.4%			6	6.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%			90	100.0%	

表５　郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別　性行動、予防行動①

	配布方法とIDの利用状況										
	アンケート回答のみ		ID使用 対面配布		ID使用 WEB配布		ID不使用 対面配布		ID不使用 WEB配布	合計		Pearson カイ2乗
過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？												
ある	35	77.8%	12	85.7%	28	90.3%				75	83.3%	0.34
ない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）												
彼氏や恋人	7	15.6%	4	28.6%	10	32.3%				21	23.3%	0.37
友達やセクフレ	20	44.4%	7	50.0%	20	64.5%				47	52.2%	0.45
その場限りの相手	24	53.3%	5	35.7%	11	35.5%				40	44.4%	0.08
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%				0	0.0%	
過去6カ月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか。												
ある	29	64.4%	10	71.4%	22	71.0%				61	67.8%	0.67
ない	6	13.3%	2	14.3%	6	19.4%				14	15.6%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか。												
ある	17	37.8%	1	7.1%	8	25.8%				26	28.9%	0.06
ない	18	40.0%	11	78.6%	20	64.5%				49	54.4%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか。												
ある	9	20.0%	3	21.4%	5	16.1%				17	18.9%	0.60
ない	26	57.8%	9	64.3%	23	74.2%				58	64.4%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか。												
ある	3	6.7%	1	7.1%	2	6.5%				6	6.7%	0.70
ない	32	71.1%	11	78.6%	26	83.9%				69	76.7%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか。												
ある	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%				2	2.2%	0.01
ない	35	77.8%	10	71.4%	28	90.3%				73	81.1%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間に、セックスのときにドラッグを使用したことがありますか。												
ある	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%				1	1.1%	0.51
ない	34	75.6%	12	85.7%	28	90.3%				74	82.2%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間のコンドーム使用状況												
非常用	31	68.9%	11	78.6%	26	83.9%				68	75.6%	0.64
常用	4	8.9%	1	7.1%	2	6.5%				7	7.8%	
過去6ヶ月間にない	10	22.2%	2	14.3%	3	9.7%				15	16.7%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	

表６　郵送検査キット配布方法と ID の利用状況別　性行動、予防行動②および利用後の状況

	配布方法とIDの利用状況										
	アンケート回答のみ		ID使用 対面配布		ID使用 WEB配布		ID不使用 対面配布		ID不使用 WEB配布	合計		Pearson カイ2乗
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか。												
とてもよく知っている	14	31.1%	3	21.4%	3	9.7%				20	22.2%	0.12
具体的には知らないが、聞いた	27	60.0%	11	78.6%	23	74.2%				61	67.8%	
まったく知らない	4	8.9%	0	0.0%	5	16.1%				9	10.0%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」に対する使用意図												
服薬したくない/どちらかといえば	8	17.8%	1	7.1%	6	19.4%				15	16.7%	0.57
服薬したい/どちらかといえば	37	82.2%	13	92.9%	25	80.6%				75	83.3%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
過去6カ月間の「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」の使用経験												
ない	38	84.4%	13	92.9%	29	93.5%				80	88.9%	0.41
ある	7	15.6%	1	7.1%	2	6.5%				10	11.1%	
合計	45	100.0%	14	100.0%	31	100.0%				90	100.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか。（複数回答）												
梅毒	4	8.9%	0	0.0%	5	16.1%				9	10.0%	0.23
A型肝炎	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%				2	2.2%	0.36
B型肝炎	4	8.9%	1	7.1%	2	6.5%				7	7.8%	0.92
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%				0	0.0%	
クラミジア	5	11.1%	2	14.3%	4	12.9%				11	12.2%	0.94
尖圭コンジローマ	4	8.9%	1	7.1%	1	3.2%				6	6.7%	0.62
淋病	1	2.2%	1	7.1%	1	3.2%				3	3.3%	0.67
HIV感染症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%				0	0.0%	
赤痢アメーバ	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%				1	1.1%	0.06
毛じらみ	14	31.1%	4	28.6%	5	16.1%				23	25.6%	0.33
性器ヘルペス	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%				1	1.1%	0.60
その他	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%				1	1.1%	0.60
いずれもない	23	51.1%	6	42.9%	17	54.8%				46	51.1%	0.76
【事後アンケート】この検査キットのプログラムをどこで知りましたか。（複数回答）												
アプリ広告で知った			1	8.3%	13	50.0%	2	28.6%		16	35.6%	0.06
インターネットで知った			1	8.3%	5	19.2%	3	42.9%		9	20.0%	0.30
コミュニティセンターで知った			9	75.0%	1	3.8%	0	0.0%		10	22.2%	<0.01
ゲイバーで知った			0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%		1	2.2%	0.67
友達から聞いた			1	8.3%	2	7.7%	0	0.0%		3	6.7%	0.70
その他			1	8.3%	3	11.5%	2	28.6%		6	13.3%	0.52
【事後アンケート】指先からの採血は簡単でしたか。												
簡単だった			7	58.3%	16	61.5%	3	42.9%		26	57.8%	0.59
どちらでもない			2	16.7%	3	11.5%	1	14.3%		6	13.3%	
難しかった			3	25.0%	4	15.4%	3	42.9%		10	22.2%	
無回答			0	0.0%	3	11.5%	0	0.0%		3	6.7%	
合計			12	100.0%	26	100.0%	7	100.0%		45	100.0%	
【事後アンケート】この検査キットのIDがもらえる「ゆうそう検査アンケート」に回答しましたか。												
回答した			11	91.7%	25	96.2%	6	85.7%		42	93.3%	0.42
していない			1	8.3%	0	0.0%	1	14.3%		2	4.4%	
無回答			0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%		1	2.2%	
合計			12	100.0%	26	100.0%	7	100.0%		45	100.0%	

資料１　クリニック検査受検者の概要

とうかいクリニック検査アンケート集計結果

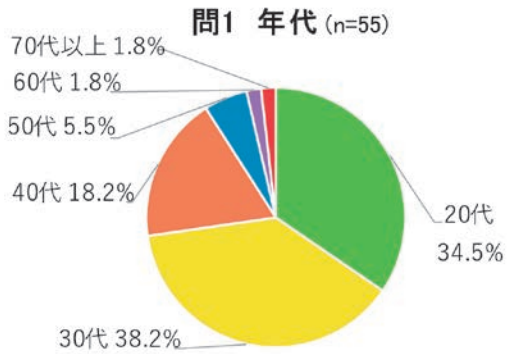
2021年度

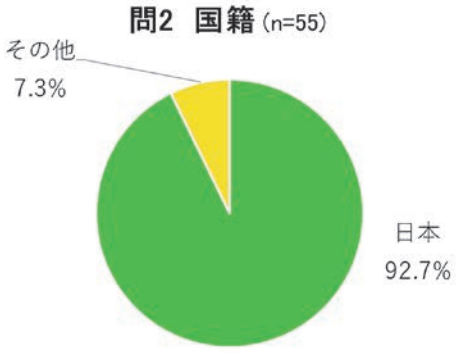
全体　55名　（第1期46名、第2期9名）

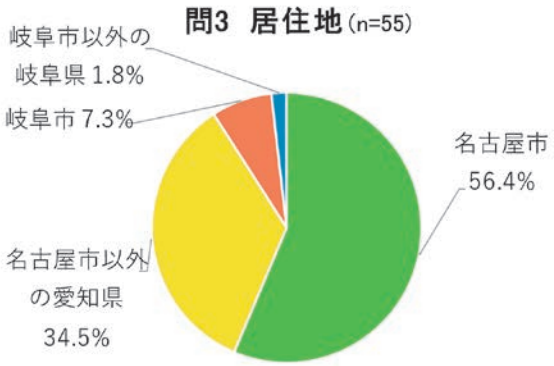
たわだ泌尿器科　44名　（第1期36名、第2期8名）

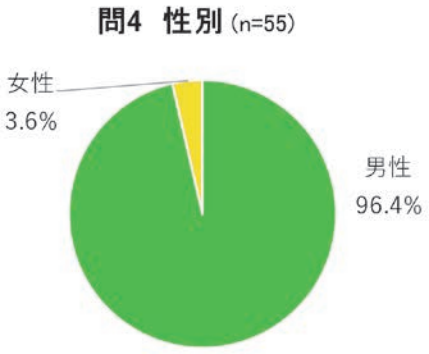
いむれ内科クリニック　3名　（第1期3名、第2期0名）

操健康クリニック　8名　（第1期7名、第2期1名）

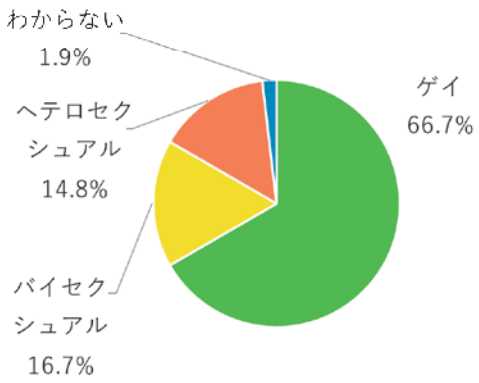




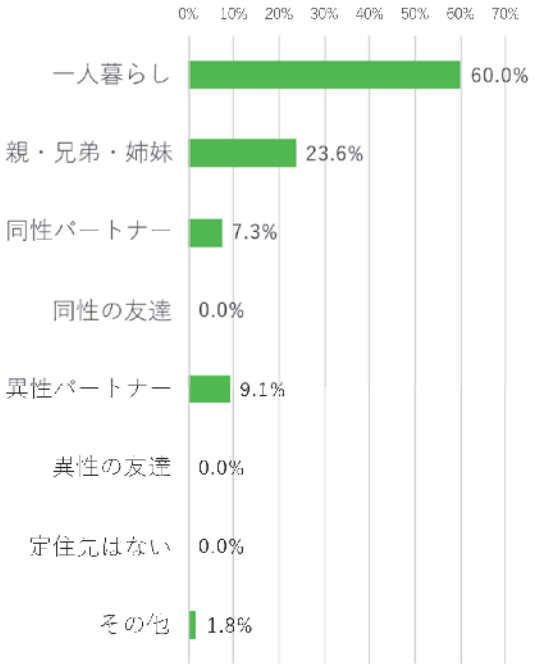




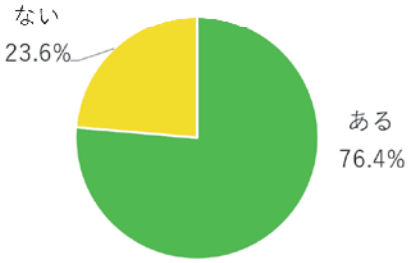
問5　セクシュアリティ(n=55)



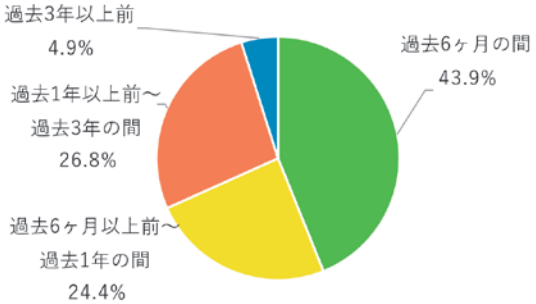
問6　現在の同居者(複数回答)
(n=55)



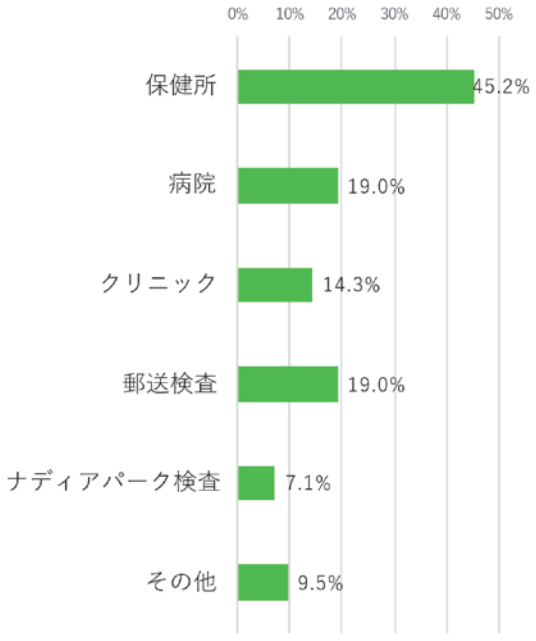
問7　HIV検査のこれまでの受検経験n=55)



問7-2　直近のHIV検査の受検時期受検経験有のみ対象)(n=41)

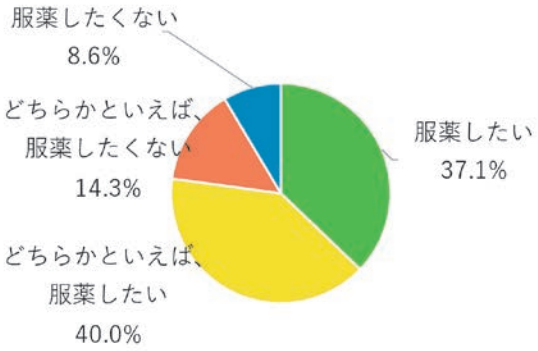


問7-1　過去1年間にHIV検査を受けた場所(受検経験有のみ対象、複数回答)(n=42)

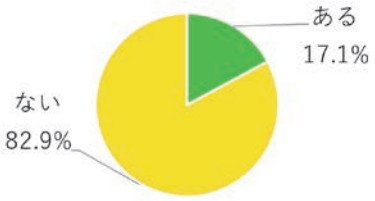


問8 「HIV感染予防のための
セックス前の服薬(PrEP)」に
関することを知っているか(n=54)

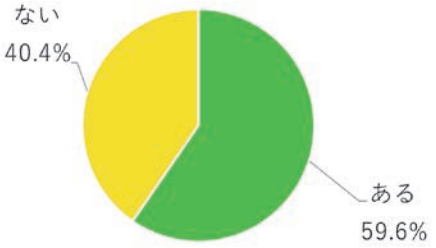
問8-1 「HIV感染予防のための
セックス前の服薬(PrEP)」の
服薬希望(PrEP知っている人のみ対象)(n=35)



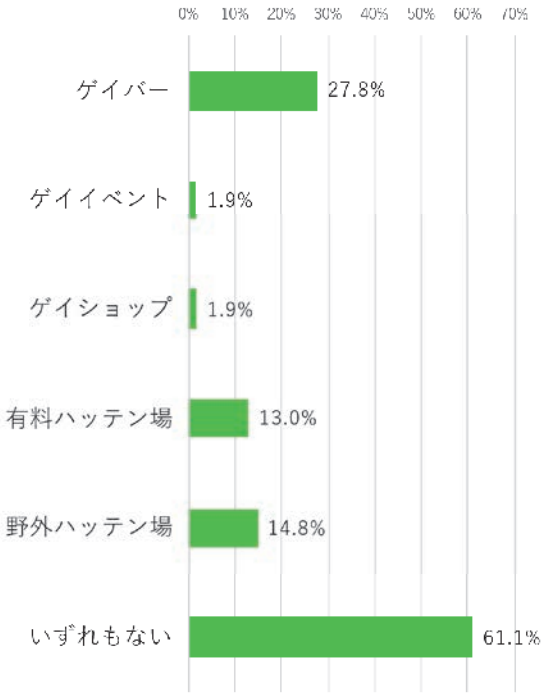
問8-2 過去6か月間の「HIV感染
予防のためのセックス前の服薬
(PrEP)」の服薬経験
(PrEP知っている人のみ対象)(n=35)



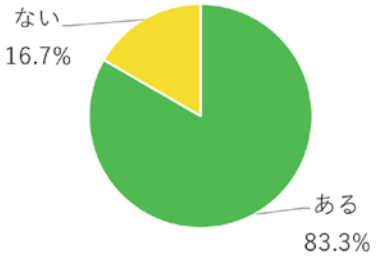
問9 「HIVに感染していても、抗
HIV薬によって血液中のウィルス
が検出できないレベルになってい
る人は、セックスパートナーにHIV
を感染させることはない」(U=U)と
いうことを聞いたことはあるか
(n=52)



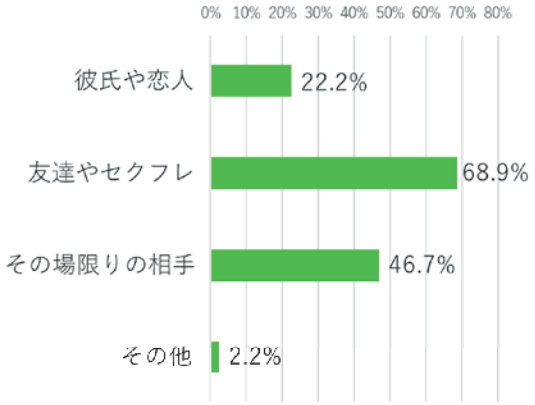
問10 過去6か月間に利用したゲ
イ向け施設(複数回答)(n=54)



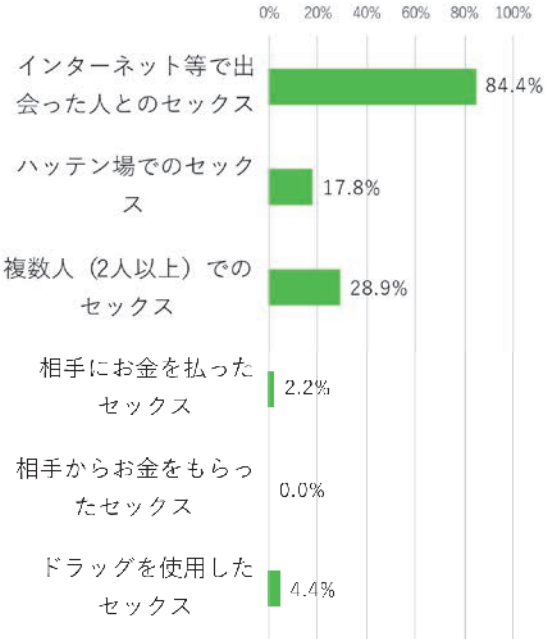
問11　過去6か月間の男性とのセックス経験(n=54)



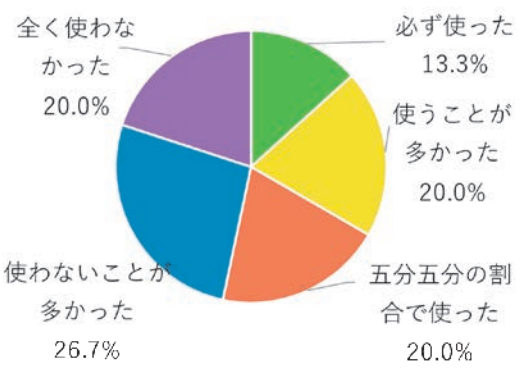
問11-1　過去6ヶ月間のセックス相手（セックス経験有のみ対象、複数回答）（n=45）



問11-2～11-7　過去6か月間の様々なセックス経験（セックス経験有のみ対象、n=45）

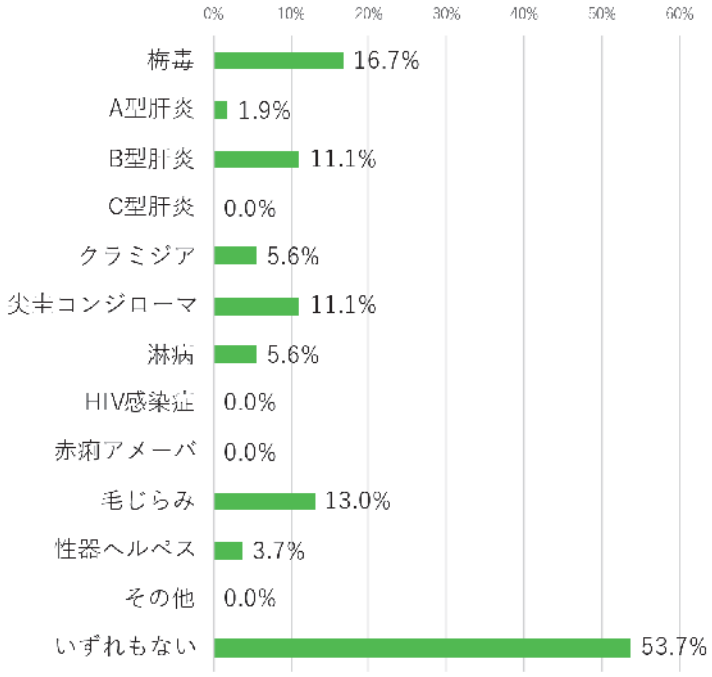


問11-8　過去6か月間のセックス時のコンドーム使用状況（セックス経験有のみ対象、n=45）



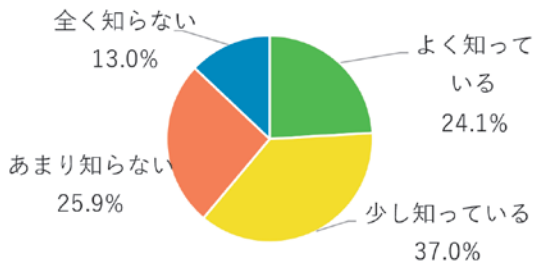
問12 罹患歴のある性感染症(複数回答)

(n=54)

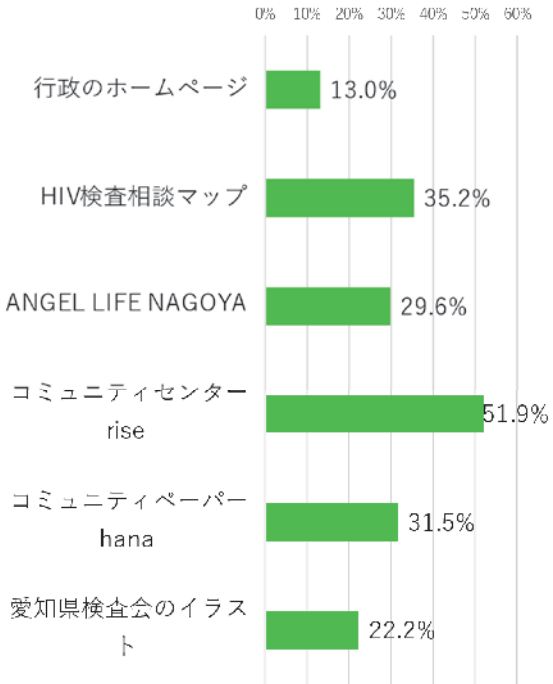


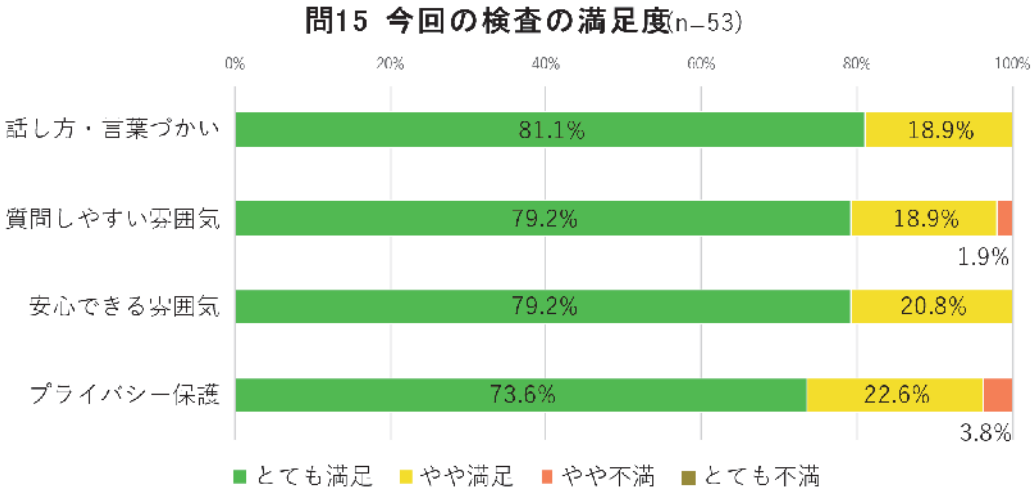
問13 MSM対象の予防啓発やコミュニティセンターを知っているか

(n=54)



問14 HIV関係の印刷物やホームページ等の認知(複数回答)(n=54)





自由記載：

- 500円で受けられるのが、とてもありがたい。もっと広く知られるべきだと思った。
- 名前ではなく、番号札で呼んでほしかった。
- 機会を下さりとても助かりました。

資料２　MSM ALL JAPAN. ミーティングおよび班会議資料

2021年度の名古屋地域の状況

①コミュニティの状況
ほとんどのMSM向け商業施設は時短営業・休業、イベントは中止されていた
一部のバーで、週末のみイベントを開催した時期もあったが、翌月から中止になることが多かった

期間	発令宣言・措置	期間	発令宣言・措置
3月22日～4月19日	警戒領域	10月31日～11月21日	制限緩和
4月20日～5月11日	まん延防止等重点措置	11月22日～12月19日	警戒領域
5月12日～6月20日	緊急事態宣言	12月20日～1月7日	制限緩和
6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置	1月8日～1月14日	警戒領域
7月12日～8月11日	愛知県厳重警戒措置	1月15日～1月20日	愛知県厳重警戒措置
8月12日～8月26日	まん延防止等重点措置	1月21日～3月6日	まん延防止等重点措置
8月27日～9月30日	緊急事態宣言		
10月1日～10月17日	愛知県厳重警戒措置		
10月18日～10月30日	警戒領域		

2021年度の名古屋地域の状況

②検査機会の動向
・名古屋市の保健センターでの平日昼間検査は9月まで中止、9月から再開したが、12月から再度休止
・土曜検査と日曜検査は業務委託をしていたので、委託先では予約数を減らして実施を継続
・愛知県では、半数の保健所が検査休止、9月から再開したが、12月に再度休止
・12月の世界エイズに合わせて、臨時検査が実施された
・名古屋医療センターが10月1日から、平日2時間だけの有料（1000円）検査を実施
・岐阜県の保健所検査は各保健所に問い合わせないと不明状態
・三重県の保健所検査は各保健所に問い合わせないと不明状態

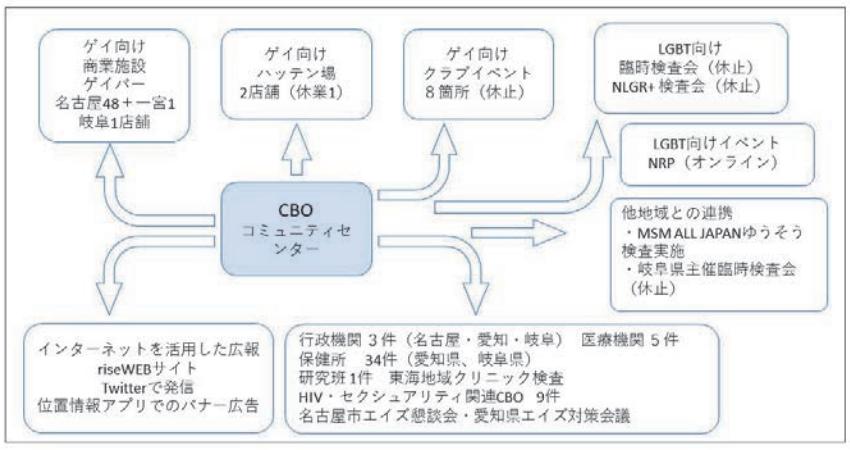
.

地域の商業施設数と連携

2022年1月31日時点

	地域の店舗数	連携店舗数	連携率（カバー率）
ゲイバー	栄39伏見7名西7 一宮1岐阜1	栄39伏見5名西4 一宮1岐阜1	90.9%
有料ハッテン場	1	1	100%
ゲイナイト	8（休止中8）	8（休止中8）	100%
ウリ専	3	2	66.6%
ゲイショップ	1	0	0.00%
サウナ・ホテル	2（休止中1）	休止中1	50%
マッサージ	不明		
ゲイ雑誌	0	0	
スマホアプリ		9monsters、Blued	
ウェブサイト	不明		
ゲイサークル	9	9	100%
その他（　　）	パレード1	パレード1	100%

普及啓発活動の状況



5

コミュニティセンターの活動状況

2021年度

運営スタッフ数　：常勤　　0人

非常勤　4人、ボランティア　2人くらい

開館曜日　：日、月、木、金、土

開館時間　：日14時～20時、月18時～21時、木19時～22時、金19時～22時、土16時～22時

総来場者数*　：　７２８名（前年度比　９５．６%）12月中旬～2月中旬は暖房不足

初来場者数*　：　３３名（前年度比　４９．２%）

相談件数*　：　２２件（うち、セクシュアルヘルスに関する相談　１０件）

*2021年4月～2022年1月まで

センターにおけるプログラムの展開：
JOINT→（友達づくり）　全年齢のMSM／虹色グラカフェ（座談会）全年齢全セクシュアリティ
HOW TO!!（勉強会）全年齢全セクシュアリティ／レインボー名古屋　全年齢全セクシュアリティ
僕らのゲイライフプロジェクト（座談会）中高年のMSM

コミュニティセンターの活動状況

2021年1月31日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	79	88	75	68	46	63	83	85	77	64			728
うち、新規	5	4	6	5	1	2	2	1	4	3			33
相談件数	1	3	1	4	0	2	3	1	6	1			22
WEB活動 アクセス数													平均220
WEB活動 その他													

勉強会　HOW to!!

＜計画時＞

プログラムの目的：MSM向けにHIVやSTIの基礎知識と検査や予防の必要性を解説し、知識の取得と予防意識の向上を図る。
対象：東海地域のMSMで来場できる人
毎月１回／年１２回

実施内容：HIVの基礎→検査について→Safer SEX→HIV以外の性感染症→特集の5回シリーズテーマで毎月１回継続開催
※誰が担当でも担当説明できる資料の作成
※二部制　前半：テーマ内容　後半：検査会報告、コンドーム特集など
※直後にアンケート依頼、事後に振り返りをスタッフ共有

＜変更時＞

プログラムの目的：変更なし

対象：東海地域のMSMで来場者およびZOOMで参加できる人（ただし、MSMに限定しない）
毎月１回／年１２回

実施内容：ウイルス感染など、HIVとCOVID-19の両方に関連する内容に

結果：毎月１回／年１２回
参加者：毎回ZOOMで他県からの参加を含め３～6名
参加者の意見「県越えをしなくても隣県からZOOMで参加できるのは良い」

8

友達づくりイベント　JOINT→

＜計画時＞ ⇨ ＜変更時＞

プログラムの目的：新たにゲイコミュニティにデビューした若年層や東海地域に転入してきたMSMに対して友達づくりの機会を提供することで、センターの認知を向上させるとともに、参加後にHIVやSTIの情報に触れる機会を図る
対象：東海地域のMSMでrise来場者

実施内容：毎月１回、riseの屋内屋外で継続開催
花見、池田公園で花火大会、ハロウィンパーティ、紅葉狩り、クリスマスパーティ、初詣、ゲイバー飲みなど
※参加費はほぼ材料代のみ

プログラムの目的：変更なし
対象：東海地域のMSMで公共施設に来場できる人

実施内容：毎月１回、感染対策をしながら、riseの屋外でのみ継続開催
参加は事前予約制
花見、池田公園で花火大会、紅葉狩り、イルミネーション見物、初詣、など
※参加の交通費は自己負担

結果：毎月１回
参加人数　２～６名
参加者の意見「住居は県外で、予防情報に触れる機会がなかったので良かった」

9

コミュニティペーパーHANA

プログラムの目的：東海地域のMSMに向けて必要な情報（を提供し、HIVやSTIの基礎知識と検査や予防の必要性を開設し、知識の取得と予防意識の向上を図る。
対象：東海地域のMSM向け商業施設および利用者
予算：コミュニティセンター事業費（デザイン費、印刷費）

＜計画時＞

5月発行　2500部 臨時検査会	10月発行　2500部 臨時検査会	1月発行　2500部 東海クリニック検査

＜変更時＞

6月発行　2500部 東海クリニック検査 ゆうそう検査	12月発行　2500部 ゆうそう検査 名古屋市臨時検査会 愛知県臨時検査会	2月発行　2500部 東海クリニック検査

10

オリジナルコンドーム

＜計画時＞

プログラムの目的：東海地域のMSMに向けて、セーファーセックスに最も有効なコンドーム使用への抵抗感を減らすとともに、携帯しやすいデザインにすることで予防意識の向上を図る。
対象：東海地域のMSM向け商業施設および利用者
予算：コミュニティセンター事業費

実施内容（資材展開）：
ゲイ同人誌やネットにて人気が高いイラストレーターに依頼をし、そのイラスト画像のパッケージで15000個を製作し、毎月１回のアウトリーチにてバーやハッテン場に配布、クラブイベントや臨時検査会時にも配布。

啓発動画配信（予定）

＜変更時＞

コンドームアウトリーチはコンドーム会社から提供された在庫で継続

プログラムの目的：東海地域のMSMに向けて、riseのTwitterアカウントから拡散効果の高い啓発動画を制作し、SNSを通じて発信することで、セクシュアルヘルスに関する意識の向上を図る。
対象：riseのTwitterアカウントをフォローしている層を対象に、これまで来場しなかったMSMや、ゲイコミュニティから遠ざかっていたMSM
予算：コミュニティセンター事業費

実施内容：撮影や編集は動画制作会社に依頼し、動画の企画(センター紹介)案と出演者の調整中。3月中に撮影予定

11

NLGR+2021

＜計画時＞

プログラムの目的：LGBTのお互いの多様性を認め合う（自己肯定をする）機会を提供すると同時に、**HIVをはじめとする感染症など、LGBT自身の健康について考える機会を提供する。**パレードのように社会への可視化を目的とはしていない。
対象：東海地域在住のMSMを中心に、NLGR+2021当日に来場したMSM（ただしMSMに限定しない）
実施内容：池田公園および周辺地域
5月の第4土曜～日曜

＜変更時＞　開催中止（実施不可能）

メイン会場である池田公園は１）完全なオープンスペースであり、来場者が三密を避けた行動をするようにコントールすることができない環境である、２）出演者、ブース出展者などの協力者は、緊急事態宣言下で他県から移動できない、３）NLGR+検査会が中止となり、検査会イベントしての意義が半減していることを鑑みて、中止を決定した。

12

NLGR+2021検査会研修会

＜計画時＞

プログラムの目的：NLGR+2021と同時開催される「NLGR+2021検査会」に従事するスタッフおよび**他地域も含めた保健センターおよび保健所従事者**へ、HIV感染者の多くの割合を占め、個別施策層でもあるMSMのセクシュアリティについて説明を行う。また同時に、コミュニティセンターriseが行っているMSM向け啓発活動の紹介と検査を提供する必要性について説明を行い、従事するスタッフにはロールプレイの研修を行う。
対象：NLGR+2021検査会に従事する医療関係者、保健センターおよび保健所従事者、医学部および看護学部の学生ボランティア
（検査会に従事しない者も参加可能）
実施内容：受検者のセクシュアリティ（MSM）と検査会の流れ
5月の第2土曜

＜変更時＞　開催中止（実施不可能）

主催者である名古屋市健康福祉部感染症対策課担当者および委託先の名古屋医療センターのスタッフの従事が困難であり、中保健センターで受検者が三密を避けた検査環境を提供するのが困難であると判断し、中止を決定した。

13

NLGR+2021検査会

＜計画時＞

プログラムの目的：普段商業施設の利用やコミュニティに出ない層が来場する機会に、HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎の4種必須検査を提供し、受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、受検への抵抗感を低減するとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。
対象：東海地域在住のMSMを中心に、NLGR+2021当日に来場したMSM（ただしMSMに限定しない）
予算：地方行政事業費

実施内容（イベント実施）
中保健センター（中区役所3階）
5月の第4土曜　採血受付
翌日　結果通知

感染予防啓発資材の作成

＜変更時＞

プログラムの目的：名古屋市在住のMSMにHIVとCOVID-19の感染予防の情報を提供する。
1000部作成し、配布を行った。

14

性感染症検査会（昨年度は中止）

プログラムの目的・必要性：世界エイズデーに合わせ、HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎の4種必須検査を提供し、受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。
対象となる人や施設：東海地域在住のMSMを中心に、誰でも受験できる（MSMに限定しない）
予算：地方行政事業費その他の投入資源：コミュニティセンター事業費（ポスター印刷費）

⇩

実施内容（広報実施）：ナディアパーク６階
12月5日　10時～16時　採血受付　　先着　200名　受検者：198名　HIV＋：0名
12月6日～　**スマホ・PCで検査結果サイトにアクセス**
陽性者には医療機関への紹介状をネットより発行

⇩

広報内容：東海地域在住のMSM向け
・riseのWEBサイトおよびTwitterでの定時配信
・ポスターおよびコミュニティペーパーなどの紙資材での広報
・スマホ用出会い系アプリの起動時広告は空きがなくて未実施

15

M検in岐阜

＜計画時＞

プログラムの目的：世界エイズデーに合わせ、HIV検査を提供し、岐阜在住のMSMの受検者に自己の健康チェックをしてもらうとともに、定期的な検査を意識付けする機会としている。
対象：岐阜県在住のMSM向けだが、MSMに限定しない
予算：地方行政事業費
その他：コミュニティセンター事業費（アプリ起動時広告、印刷費）

実施内容：
ハートフルスクエアG（JR岐阜駅隣接）
11月中旬午後前半　採血受付
同日午後後半
スクリーニング検査結果
陽性者に岐阜大病院の紹介状を発行

⇨

岐阜県クリニック検査

＜変更時＞

プログラムの目的：変更なし
対象：岐阜県在住のMSM
（広報をMSMに限定する）
予算：地方行政事業費
その他：コミュニティセンター事業費

実施内容：
松波総合病院（岐阜県羽島市）
来年１月中旬～３月中旬
広報の画面（画像）を見せたMSMは、無料でHIV＋梅毒のセット検査が受検できる
陽性者は松波総合病院で治療

⇩

委託先と調整（電子カルテの準備・平日のみの受検など）がうまく行かず、実施は中止

16

研究者との連携　やってみそ！

プログラムの目的：研究者と共同で昨年度に実施したMSM向けメンタルヘルス相談「はなしてみそ」の発展形として、MSM自身がメンタルヘルスについての知識を修得し、ストレスや悩みへの対処法を身に付けるプロジェクトと協力することで、メンタルヘルスの改善により、予防意識が向上するプログラム作りを行う。
対象：愛知県および岐阜県下在住のMSMで参加申請者
予算：研究費

⇩

実施内容（資材・WEB展開）：
期間：＜第一回＞11月1日～11月30日
募集は9月15日～10月31日
＜第二回＞3月13日～4月24日
募集　1月30日～3月12日
専用の案内パンフレットを作成した紙資材での広報と、riseのWEBサイトおよびTwitterでの定時配信を行なう。

⇩

＜第一回＞　申込3名、参加者1名

17

研究班との連携　東海地域クリニック検査

プログラムの目的：東海地域在住のMSMの早期受検を促進し、早期治療につなげるためにクリニックと協働した検査事業を展開するとともに、アンケートから受検したMSMが感染のハイリスク層であるか、広報を担当したriseの活動の認知の浸透、およびHIV陽性であったMSMが感染初期であったかを検証する。
対象：愛知県および岐阜県下在住のMSM
予算：研究費

実施内容（資材・WEB展開）：
期間：＜第一回＞8月1日～9月30日の各クリニック診察時間
　　＜第二回＞1月31日～2月26日の各クリニック診察時間

専用の案内デザインを作成し、ポスターおよびコミュニティペーパーなどの紙資材での広報と、riseのWEBサイトおよびTwitterでの定時配信を行った。
さらに、MSM向けスマホ用出会い系アプリの起動時広告も行った。

受検結果：名古屋市 46名、豊橋市 3名、岐阜市 8名　、
HIV陽性 1名（昨年度　名古屋市 26名、岐阜5名）

ゆうそう検査の取り組み

2021年度

主に対象となる人や施設：東海地域在住のMSMや名古屋市のMSM向け商業地域（コミュニティセンターriseの所在地）にアクセスできるMSM

配布方法：コミュニティセンターrise（アンケート後に手渡し）およびネット申込
研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費（広報費用）

工夫した内容（資材・WEB展開）：
ポスターやコミュニティペーパーなど紙媒体による広報展開も実施したが、商業施設の休業や時短営業により、配布が不十分であった。
TwitterおよびWEBサイトでの広報展開を行った。

結果：
実施日時）＜対面＞10月1日～10月31日、11月27日～12月25日
　　＜WEB申込＞10月1日～12月25日
配布数やアクセス数）対面：15名、WEB申込：60名
実施した反応）
・対面での受検勧誘は、「最近は性交渉をしていない」と断られるケースが多い。
・受検意識が高い層は東海地域クリニック検査で受検済み

次年度の取り組みについて

- コミュニティセンターとしての活動の見直し（ミッション・ビジョン・バリューの再認識）を行い、今のプログラムの精査をしていく。
- （商業施設をベースとした）コミュニティへの広報は、時短営業および休業により、効果が得られなかったので、商業地域やコミュニティセンターに来場しなくても受け取れる情報サービスを動画配信以外を再度検討する。
- 今年度から動画配信などを積極的に取り入れていくが、顔出しなどプライバシーへの課題があるため、慎重に検討を重ねる。
- 東海地域でPrEPを処方してくれるクリニックの開拓

20